神戸市立春日台小学校
令和６年度
学校だより

春日台

5月号

『**温かい関係性**を土台とした、**進んで自己表現**できる力』の育成をめざして

春日台小学校 HP
２次元コード

あいさつは心を開く「合い言葉」

朝、校門に立ったり、自転車で校区内を回ったりしていると、「おはようございます。」という、気持ちの良いあいさつに出会うことができます。中には目と目を合わせてあいさつをしてくれる子、立ち止まって深々とお辞儀をしてくれる子もいます。あいさつのついでに、私や管理員さん（管理員さんも朝、校門に立って子供たちを迎えてくれています）とのじゃんけんを楽しみにしている子もいるようです。春日台小学校の子供たちが、気持ちの良いあいさつのできる子供に育っていることは大変嬉しいことです。

あいさつは、小さい頃からの積み重ねです。とりわけ昨今は、大人も子供も人との関わりがうまくいかなくてトラブルに発展するようなことが多く起きていますが、「人は、人と人との間で人間になる」と言われる位、人と人との関わりは大切なことです。いろいろな人と関わりを持つには、自分から心を開くことが肝要です。そして、その始まりがまず「あいさつ」をすることではないでしょうか。

多くの子供たちは、毎朝、心からの笑顔で「おはようございます。」と気持ちの良いあいさつをしてくれますが、恥ずかしそうに下を向いている子や、黙って通り過ぎてしまう子も中にはいます。そんな子供たちを見ていると、「何か嫌なことがあるのかな。」「元気がないな。」と心配になってきます。

春日台小学校では「**か**かわり合い　**す**すんで学ぶ　**が**んばりぬく子」を目指す子供像とし、「**温かい関係性**を土台とした、**進んで自己表現**できる力」の育成を目指しています。あいさつを通し、関わり合うことで、温かい関係性は育ちます。ぜひ、ご家庭や地域でもあいさつに力を入れていただき、「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「行ってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」等の家庭でのあいさつ、「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」等の地域でのあいさつをしっかりとした言葉で言っていただければ幸いです。言葉に出すことで、更に言えば、目と目を合わせてあいさつを交わすことで、親子の愛情や地域のつながりはもっと深まっていくと思います。

風薫る好季節になりました。新学期が始まってひと月。子供たちも新しい先生、新しいクラスにようやくなじんできた頃です。それとともに、今までの緊張が疲れとなって出てくる頃でもあります。ゴールデンウィークはゆっくり休んで、心も体もリフレッシュしていただければと思います。特に１年生は、この連休にゆっくりできる時間を取ってあげてください。どのお子さんも安心・安定できるように、ご家庭でよく話を聴いていただければありがたいです。

５月７日には、また気持ちの良い「おはようございます」のあいさつに出会えることを楽しみにしています。

校　長　　難波　智行